

令和6年度 第1回添田町総合教育会議 議事録

日 時：令和6年8月23日 金曜日 午前10時00分～午前10時50分
場 所：添田町役場 2階 第1会議室

出席委員：添田町長 寺西 明男

添田町教育委員会 教育長 高瀬 光一

添田町教育委員会 委員 諫山 哲朗

添田町教育委員会 委員 古田 浩治

添田町教育委員会 委員 梅野 香里

添田町教育委員会 委員 山下 憲香

町関係者：添田町副町長 柴田 和紀

総務課長 今中 裕二

財政課長 中谷 宣彦

まちづくり課長 宮内 茂

健康子育て応援課長 岩崎 さおり

福祉環境課長 木戸 衛一郎

事務局： 添田町教育委員会 学校教育課長 梶谷 敏博

学校教育課課長補佐 木稻 茂

欠 席 者：0人

傍 聴 人：0人

内容

1 開 会

2 町長あいさつ

3 案件

報告事項1 校舎建設進捗状況について

報告事項2 学校関係行事予定について

報告事項3 その他開校に伴う契約関係について

報告事項4 2期工事の概要について

協議事項1 学校設置条例の一部改正について

協議事項2 財産の取得について

協議事項3 今後の学校給食の運用等について

4 その他

5 閉 会

【議事詳細】

発言者	内 容
梶谷学校教育課長	おはようございます。それでは令和 6 年度第 1 回添田町総合教育会議を始めさせていただきたいと思います。 本日の出席につきましては、町長そして副町長、そして関係課長といたしまして総務課長、財政課長、まちづくり課長、健康子育て応援課長、福祉環境課長に出席をいただいております。そして教育委員会側としましては教育長、そして教育委員 4 名に参加していただいております。 事務局の方としましては、学校教育課は、私、梶谷の方で進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは次第に沿いまして進めさせていただきたいと思います。 まず町長ご挨拶よろしくお願いいたします。
寺西町長	おはようございます。総合教育会議ということで、出席させてもらいました。非常に熱暑というか、暑い中本当に、お忙しい中、ご出席いただき本当にありがとうございます。 学校建設も順調に進んでおりまして、かねてから念願の添田町の子供たちの教育環境整備も行われようという段階です。 今後はその中身である子供たちの教育内容の充実強化というものが重要になってくるのではないかというふうに思っております。先日全国の学力テストが発表されたと報道されておりましたが、添田町はどうか、また、我々町長部局のまちづくりにおけます、評価の一要素があるというためにやはりそういうものも注目しているというところでございます。そういう意味ではこれからの学校教育また放課後児童も含めまして、対応もしっかり行わなければというふうに思っておりました。 また教育委員会等にも期待するところが大きいところでございますが、教育は、また、まちづくりの一つの要でございます。どうかまた今後ともよろしくお願いいたします。以上です。
梶谷学校教育課長	ありがとうございました。それでは案件の方に入らせていただきたいと思います。大変申し訳ありませんが町長議長の方よろしくお願いいたします。
寺西町長	総合教育会議という形での進行ということで進めておりますので、着座にて進めさせていただきますが、この会議のあり方等を含めまして若干意見を述べさせていただきたいと思います。 ご承知の通り添田町総合教育会議、組織としましては、町長及び教育委員会をもって構成するということで、教育行政の大綱、教育を行うため

	の諸条件の整備など重点的に講ずべき施策に関することなど、議題として協議、調整する場でございます。 その中で本日の議題でございますが、いろいろ上がっております、ほぼ報告事項と申しますか、そういうものでございまして新年度に向けた、新年度開校に向けた条件整備等も 9 月議会に上程するための整備とかいうふうなものの協議、調整というよりも報告というものが主であるようでございます。 そういう意味では、この総合教育会議のあり方について議題のあり方について、もう一度しっかり整理しなければならないかなと私自身は思っております、その他におきまして、今回先ほどいろいろ紹介がございます、各課、町長部局の各課に来てもらい意見交換するということでございますが、その方が逆に中身の、その中身の方が、かえってこの会議の議題になるんじゃないかな、議題として挙げるべきじゃないかなというふうに私自身思いながら今日このままこの場にいるわけでございますけど、そのような問題点というか、私自身が感じておりますが、また後ほどご意見をいただければと思っておりますけれども、本日はこの報告事項が主題の会議ということでございますが、この次第に沿って進めさせていただきたいというふうに思っております。 それでは、ここにごございます次第のまず報告事項 1、校舎建設進捗状況についてということについて報告を学校教育課長からお願いします。
梶谷学校教育課長	はい、それでは報告事項になります 1 でございます、お手元の方に校舎建設の進捗状況、令和 6 年 8 月の資料を配付しております。それをご覧ください。報告事項ですので非常に簡潔に説明させていただきます。 現時点、令和 6 年 8 月時点で工事は計画は順調通りに進んでおります。書いてありますが、現在は 1、2 階の内装工事そして 4 階の躯体の配筋の型枠、コンクリート工事の打設を行っております。 昨日ちょっと工程会議がありまして、そちらの方に出席しましたが 4 階の部分の、上の部分の天井の部分もコンクリート部分も終わっている状況ですので、そのまま順調に進めますので総合工程表におけます 9 月の上旬には躯体が上棟するという形で計画通り進んでおります。この上棟、4 階建ての躯体が完成しますと、その後外装とか電装関係の方に入っていくという形になっております。なお、大きな事故とか事件とかいうところの報告はあっておりませんので今のところは順調に進んでいるというところでございます。そしてちょっと本日追加資料の方で、お手元の方にお渡ししております A3 のカラーでございますね、これが昨日ちょっと工程会議があった中で会社の方から提示させていただいたもので

	ございます。 内装につきましては、書いておりますが、地域資材、産材を多く使用したナチュラルで親しみやすい内装というところで基本はアースカラー、そうした自然を生かした形の色合いという形で、床、内装といったところで計画を進めさせていただき、建設を進めさせていただきたいというふうに考えております。外装につきましてもちょっと一番最後の方につけておりますけれどもこれも同じような形で校舎の外装ですね、これ元々デザインのイメージ通りの中で提案させていただきました形での自然、調和を生かした形での色合いという形で、デザイン、そして外装の方も進めさせていただきたいというふうにしております。以上報告事項でございます。
寺西町長	はい、ありがとうございます。それでは続きまして報告事項 2 学校関係行事予定についてお願いいたします。
梶谷学校教育課長	はい、それでは報告事項 2 でございます。学校関係の行事予定でございます。お手元の方の A4 の横になりますけれども、お願いいたします。主なものとしましてはですね、見ていただければわかりますけど、やはり令和 7 年の 3 月と令和 7 年の 4 月ですね、要は閉校と開校の時のスケジュールの方を少し見ていただければというふうに思います。 予定としましては、今年は小学校の卒業式を 3 月の 6 日に繰り上げ、そして 7 日に修了式を行って行こうというふうな形での予定としております。中学校は例年通りとしておりますが、小学校はやはり統合の関係がありますので繰り上げる形での終業を考えております。そしてこの終業が終わった後に各種引っ越し等を行っていくということで考えております、今のところの予定でございますけれども、内覧会もですね、今のところ予定しております。これがですね、今のところ 3 月 23 日の日曜日ということにしていますただしこの日は県知県議会選挙もありますけれども今のところ 23 日で考えております。 そして開校に当たりましては 4 月の 5 日の土曜日に落成式を行おうというふうな形での予定としております。これにつきましては関係者、来賓も含めまして落成式を行おうというふうに考えておりますそして 4 月の 8 日から小・中学校の始業式、これはこの日にしようか考えています、入学が 4 月の 10 日、中学校ですね。そして 11 日が小学校の入学式、そして給食の開始につきましては 4 月の 14 日からというふうに考えております。書いてあります 4 月 17 日にですね全国の学力テストがありますのでちょっとこの部分は全国的なものなのでちょっと外せないんです。そうしたところでのスケジュール予定というふうにしております。

	以上でございます。
寺西町長	はい、ありがとうございました、続きまして報告事項３ その他開校に伴う契約関係についての説明をお願いいたします。
梶谷学校教育課長	はい、それでは報告事項３ その他開校に伴う契約関係でございますこれも A4 の縦の方に書いております。 今のところ 8 の項目で書かせていただいております、まず学校の備品の移設ですねいわゆる引っ越しですね。これにつきましては各小学校から今、各小学校から備品を既存の備品を移設する必要がございますので、これにつきましては委託を行っております、契約につきましては山九株式会社北九州支店となっております。契約金額は 778 万 3,600 円としています。そして新しい校歌、小学校の校歌ですけれどもこれにつきましても大野さんビッグフィールドの代表者の大野さんをお願いしております。そして校章デザインでございますが、統合小学校の校章制作これにつきましては山下良平さんという方をお願いしております。 そして４番目の図書館システムですが統合小中学校の図書の貸し出しシステムを構築する必要がありますのでこれにつきましても契約を行っております。そして既存小学校の図書の整備もございますので、ここについても図書室スタッフを配置しております。同じように学校図書につきましても既存小中学校の図書移管業務につきましても契約を行っております。そして７番目の通学バスの借り上げ料ですけれども新しい小中学校の通学につきましてはマイクロバスで通学する予定としておりますので、これにつきましてはマイクロバスを 8 台、そして津野中学校、津野校区につきましても中型 1 台を予定しております。これを今、住友三井オートサービスと契約して 5 年間の契約としております。そして小・中学校のネットワークですが、新校舎の校内のネットワークの構築ですねこれにつきましては株式会社有明ねっとこむ筑豊営業所の方と 5 年間の債務負担行為を設定しております。以上でございます。
寺西町長	はい、ありがとうございました。 それでは最後の報告事項４ に工事の概要についてお願いします。
梶谷学校教育課長	はいそれでは報告事項４、２期工事の概要についてでございます。 これもお手元の方に資料を配付させていただいております 2 期工事につきましてはですね現在の校舎新築が終わりまして、令和 7 年 4 月に開校いたします。その後につきましてもまた 2 期工事という形があります。これは今の、現添田中学校を解体してその解体した後に中学校用グラウンドとして造成しなければなりません。これを 2 期工事として考えております、まずそのためにはですね、まず中学校解体につきましてはこれは

	住環境整備課にお願いしてグラウンド等の造成につきましては道路整備課ということになります、この工事の積算、工期等につきましては、今のところ両課に検討を依頼しております。この検討結果によりまして令和7年度の予算に計上していく形というふうに考えております。またこちらの方に新校舎の前のところですね児童生徒の安全確保でございます。これまでにですね福岡県警と道路整備課と協議してまいりますそしてその中で福岡県警がですね、4月の開校前に今の添田小学校の信号機をですね。廃止して新しい校舎の前に新設する方向で協議を今のところは進めておりますこれにつきまして、また福岡県警から新校舎前の町道整備とか、いろいろなところもありますので道路整備課の方に協力を依頼していくというところでございます。 2期工事の工程につきましてはちょっと非常に見にくいで大変申し訳ないんですけども、工程表の方に示させていただいております、これはもうあくまで案でございます、2期工事につきましては先ほど言いましたように、それが中学校の校舎を解体してその後にグラウンドを整備するというふうな形とします、このグラウンド整備につきましては、道路整備課とも協議が必要となっておりますのでここにつきましてはまた先ほど申したように今協議した中で、提案させていただきたい、予算に計上させていただきたいというふうに思っております。以上でございます。
寺西町長	はい、ありがとうございました。 今、報告事項1から4までございました。どの報告でも結構です。何かご質問なりございましたらお願いします。 私から一ついいですか。校歌制作と校章デザイン、これいつぐらいできて、その校歌なんかはできたら子供たちやなんか教えてあげたりしたりするんですか。
梶谷学校教育課長	はい、校歌の制作につきましては今、大野さんという方が、書いてありますけれども、先日各町内視察しまして、各学校にも訪問して子供たちか歌詞の聞き取りを行ったところでございます、これにつきましては今月の広報に掲載させていただいております。 なお、デモ音源が既に出来上がっておりますので、このデモ音源をまず各関係、開校準備協議会等に、その中で精査し、決定しまして、そしてその校歌として完全に決定したものをまた大野さんがこちらの方においでになって校歌指導を各小学校の小学校生徒に校歌指導を行ってくるということにしております。それは来年になりますけれどもそうした形での校歌指導を考えております。校章制作につきましてはこちらも先日依頼しております山下さんという方にこちらの方においでいただきまし

	て、今制作しております、これにつきましてもまたラフ等ができましたら、開校準備協議会の場で提案しまして、校章の方を決定する形で進めさせていただきたいと思っております。以上です。
寺西町長	はいありがとうございます。何か他にございませんでしょうか。
柴田副町長	私から一ついいですか。
寺西町長	それはもうちょっとこちらの委員さんの関係です。また後で、委員さん方、ございませんでしょうか。ないようでしたら、次の協議事項、協議事項の 1 学校設置条例の一部改正についての説明をお願いいたします。
梶谷学校教育課長	はい、それでは協議事項となります。添田町立学校設置条例の一部改正についてでございます。 ご存じのように小学校 5 校を統合しまして新小学校を設置いたします。これに伴いましては学校設置条例を改正する必要がありますのでこれについて学校設置条例を改正するという事で今回 9 月議会で上程することを予定しております。 なお校名につきましては添田小学校ですね、これにつきましては校名は公募を行っておりまして開校準備協議会、教育委員会、そして総合教育会議をして決定しておりますのでこれで新しい小学校という形で周知をする、位置につきましてはそういった今の添田中学校と同じ大字添田 1605 番地というふうにしております。以上でございます。
寺西町長	はい、協議事項ということですが何かご意見ご質問がございましたら、何かございませんでしょうか、(質疑なし) それではこれで進めていくという形ですね。それでは続きまして協議事項 2 財産の取得について
梶谷学校教育課長	はい、すいません、協議事項 2 でございます財産の取得についてでございます。新校舎につきましてはやはり備品購入が必要になってまいりまして、新しい、基本的にはやっぱ既存の小学校にあります備品はもう既に経年劣化してまいりまして、購入する必要があります。新しい、最近、近年購入した分につきましては移設することにしておりますがその中でもやはりどうしても備品については購入していくということでお願いするものでございます。なお、700 万円以上の備品購入というふうな形になりますと、議決対象という形になりますので、議会に上程させていただくということで進めております。まず三つございましてまず一つが新校舎の利用する主な備品の購入でございます。 今のところ予算としては約 7,000 万円程度ということで考えております。内容の主なものはですね、まず、可動式のオープンロッカーでございますが、これは小学校の教室にロッカーを移動できるようなオープン

	ロッカーを設置するものでございます。そして外庭対応の下足入れですね、そして小・中学校の学校の給食の配膳台、そして教師と、教師の机椅子そして特別作業室ですねとか、図工とかそういったところの台とか椅子、そして収納庫ですね、そして図書室用のテーブルや椅子、更衣室ロッカー、そして各会議室の椅子、テーブルで、ですね、そして他のスチール棚といったところで一応今回購入することで考えております。なお、体育用品等の備品についてはこの中には含まれておりませんので、またこれにつきましてはまた別途購入するということで考えております。続きまして2番目の新校舎の給食の備品ですね。これにつきましても新校舎で利用します給食の備品を購入するということで考えております、約1,300万程度でございます。主なものは食器カゴ、ザルとかタライとかそうした給食備品関係でございますこれにつきましても先ほどの主要備品と同じように利用可能な備品を移設しますけれどもやはりいろんな経年劣化とかしておりますのでこれにつきましては購入するという形で考えております。 また他にも、給食の必要な備品は出てきますので、これにつきましてはまた別途購入させていただこうと思います。 そして3番目でございますが児童生徒用の木製の机椅子でございます。今の児童生徒用の机につきましては、旧JIS規格で少し狭くなっています。これにつきましては新しい新JIS規格で購入することとしています。ここで購入にあたりましてですね、新たなところとしましてはやはり地域材を利用した温かみのある製品ということで、児童生徒につきましてはスチールと組み合わせた形でございますけれども、木製の椅子と机を購入したいというふうに考えております。 約1セット5万円程度でございます、今度の新しい生徒に必要な560人ということで約2,800万円程度というところになりますけれども、やはり地域材を活用した温かみあるというところで考えておりますなおこの財源につきましては森林環境譲与税も財源として活用することできるというところもありますので、この部分につきましては活用させていただく形で購入させていただければというふうに考えております。 これらの備品につきましては主要備品と給食備品につきましては、来週になりますけれども8月の29日の金曜日に指名競争入札を行いたいというふうに考えております。 そして机と椅子につきましても、木製の机、椅子につきましてはですね特殊な生産方法、生産発注というのが必要なところもありまして、これにつきましては協同組合、日田のですね、協同組合日田家具工業組合と
--	--

	契約しまして、こういうふうにしたいというふうを考えております。こうしたことを議会の方に上程させていただきたいと思っております。 以上でございます。
寺西町長	はい今、財産の取得についてが報告等ありました、何かご意見なりご質問ございましたら、ございませんでしょうか、(質疑等なし) ないようでしたら、次に次の協議事項 3、学校給食の運用についての説明をお願いいたします。
梶谷学校教育課長	協議事項 3 でございます今後の学校給食の運用等についてでございます。まずお手元の資料 6 ページぐらいあるんですけども、まず現在、令和 6 年度におきます添田町の学校給食の運用状況についてでございますけれども、児童生徒数につきましてはこちらの方に書いてあります、小学校は 331 人添田中学校が 202 人で 533 人の児童生徒が、今現状では児童生徒数がおります。参考になりますけれども令和 7 年度の開校時に児童生徒数は小学校が 320 人、中学校が 182 人と、502 人程度の児童の見込みとなっております。 そして今の学校給食費の状況です。まず令和 5 年度に物価高騰の関係ございまして給食費を改正いたしました。 今の現状は、小学校は改正月額 4,900 円そして年額が 11 か月分ですので 5 万 3,900 円、中学校は月額が 5,700 円、年額が 11 か月の 6 万 2,700 円です。そしてこの改正值上げにつきまして、令和 5 年度についてはですね値上げ分小学校が 400 円、中学校が 500 円なんですけれどもこれを新型コロナウイルスに対する対応感染症対策地方創生臨時交付金を活用しまして、値上げ分を助成させていただきました。 そして、これにつきましては、助成額は令和 5 年度は 247 万 1,800 円というふうな形の助成として、そして今年度令和 6 年度につきましてはですねこれは物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しまして、半額を助成しておりますこれにつきましては半額ですので、令和 6 年度の予算額としましては 1,348 万円を予算として計上させていただいたところでございます。 そして問題はですね令和 7 年度につきましては、現時点では臨時交付金などの情報がないことから、また保護者の方に負担していただければならないというふうな状況でございます。また物価高騰によりましてですね、また令和 7 年度の給食費も改正が必要になってくるかなというふうなことで考えております。続けます。 令和 7 年度の学校給食費についてでございますけれども、こうした状況を踏まえまして、5 年度と 6 年度町助成をいただいておりますが、令和

	7 年度からの給食費の助成についてどのように進めていくかというところでちょっと考えているところでございまして、まず令和 6 年度の田川市郡の給食費無償化の現状、2 ページになりますけれどもご覧ください。無償化しないところは糸田町と川崎町といったところでございまして、ただやはり、先ほど言いました令和 7 年度以降はですね、やはり給食費どうするかというところは、ちょっと未定というふうな形となっております。 これも続きまして令和 7 年度児童生徒数の見込みから、もし、うちの給食費を無償化するといった場合の試算をこちらの方に書いております。小学校と中学校合わせ単純に 500 人としたところで考えてますが 2,865 万、約 3,000 万程度の無償化に伴います試算というふうになっております。 教育委員会としましてはこういった恒常的な財政の負担が非常に大きいということがあります。 ただ一方、保護者の負担軽減を図るというところにつきましては教育的な観点から無償化ということに対して反対するものではないということでございます。 続きましてそして今の添田町の学校給食の私会計の状況でございます。添田町の学校給食の運営はですね、私会計となっています。私会計というのは何かといいますと、学校が保護者から毎月給食費を徴収しまして、校長名義の通帳で出納管理して食材の購入の支払いを行っております。そして給食費の未納についても学校が行って、現在の徴収方法は一般の児童生徒の中から今は口座振替というところで毎月口座振替をしておりまして、引き落としできない人につきましては、保護者につきましては、また学校の方から連絡するという形での対応というふうにしております。そして、食材費につきましても毎月学校の方に請求があります、これを学校、後はその徴収した給食費の中からやりくりしていくというふうな形としております。 そして今、小学校につき栄養教諭につきましては、小学校が 1 名、中学校 1 人配置されておりますが、統合に伴いまして、やはりもう 1 名になるというところでございまして、学校の栄養教諭の負担が非常に大きくなってくるかというふうに考えております。 こうしたところから、続きまして、4 番になりますが添田町の学校給食の公会計化の実施といったところであります。 今のように添田町は私会計なんですけれども、文科省等からは、やはり公会計化を推進しているというところでございます。
--	--

	最近になりましては中央教育審議会特別部会からも緊急的な提言といたしまして、学校教育の現場を教育委員会としていろいろ改善していくというところの提言がっております。その中におきましてはやはり教師の働き方改革も含めて公会計化を進めていくということを進めていくことということの提言がっております。 4 ページの方にいきます。学校給食の公会計化のメリットデメリットについてこちらの方に書いております。 やはり学校現場の体制がですね、やはり一番大きいのかなというところでは。徴収と学校事務は行っておりますので学校の方の教師の負担が非常に大きい、特に督促業務等がやはり負担になっているというところがございます。デメリットとしましては、これは町側の方になってまいりますけれども、電算システムや管理コストがかかっています。 そして未納対策につきましては、学校と比べまして密に保護者と連絡することができませんので、未納が増えていく、そこに対して何らかの形で町の方が徴収事務等を行っていくところのが、非常に通常の学校でやっているところが難しくなるというところがございます。いずれにせよ、公会計化になりますと、町の事務負担というのが増えてくるというふうな形となっております。 教育委員会としましては公会計化のこうしたメリットデメリットを踏まえまして、また田川市郡の状況も踏まえたところで、今のところは令和7年度から給食の公会計化を実施するというふうな形としております。 まず、一つ目、負担につきましてはやはり先ほど言いました教員の業務負担の軽減というのが一番大きい、そして2番目は町予算を計上することによって急激な物価高騰等が生じたときは、予算範囲内であれば対応可能となりまして安定した給食が提供できる、そして私会計の場合は給食費を未納とした場合に対しては、これは結局は債権者が明確ではありませんので、校長がある意味取り立てるそうしたところがちょっとできにくいところもございますのでそうしたところで教育委員会としては公会計を進めていきたい、進めるということでさせていただいております。 そして5番目です、学校の給食におきます、かなり人員の配置も必要ですけれども、公会計化を進めていくに当たりましてやはり一番の問題はやっぱり学校で今まで負担していたところが、町負担となります。これにつきましては、まず今年度予算につきましては、給食公会計システム整備委託料としては、学校教育課としては583万円を計上しているところでございますが、このシステムの契約の締結が必要になってまいります。
--	---

	そして今ある、既存の財務会計システムこれとの連携が必要になりますので今回の9月補正において財政課の方から計上することとしております。いずれにせよ、令和7年度公会計化につきましては早急にシステムを構築行う必要があるというところでございます。 事務については、先ほど言いましたように、学校給食についてはですね町の歳入歳出予算に計上して、町が徴収管理するという形になります。また、無償化にしても、結果的には食材費の支払い等は町が負担することになりますので発生することになります。そして給食費の決定ですね。そして委員会予算の作成、予算計上等、そして保護者に対して給食費を町口座に振替しての依頼、食材の購入、支払い、そして給食費の未納の場合は町から督促等を行わなくてはならないというふうな状況になっています。そして先ほども言いましたように栄養教諭は1名となることから、そして給食調理室は1つとなることから、給食センターのような形での体制作りが望ましいではないかと考えております。こうしたことから今後統合におきましては、学校給食運用に当たりましては系の設置や人員配置等が必要になるというふうに考えています。そして最後になります、6番目のあくまで案でございますけれども、学校給食の運用等に対する添田町教育委員会としての検討でございますけれども、先ほど今まで説明しました上記1から5の学校給食に、我々の選択肢をまとめた場合はですね、まず給食費についてはですね、給食費無償化というふうな形でしております。これにつきましては先ほど申したように保護者負担軽減は図れますけれども恒常的な町財政負担が非常にかかるということは我々も十分認識しておりますので今後の予算計上等に応じてやはり町部局との考え方と協議を進めていければというふうに考えております。続きましてBの会計方式でございますが、これは公会計化ということでございます。今回補正予算を行って、令和7年度から公会計化したいというふうに考えております。そしてもし財政面等も含め私会計を継続すると判断された場合につきましては、学校に対して継続理由や事務補助等が必要となるということがあるとは考えられると思います。そしてCの係設置人配置としては係設置と人員配置が必要というところでございます。 やはり公会計化におきましては栄養教諭の人員配置等も含めまして、私会計、公会計のいずれの場合にしましても、学校給食の運営のためには系の設置や人員配置がやはり必要ではないかというふうに考えております。以上でございます。
--	--

寺西町長	はい、ありがとうございました。 この点につきまして、まず町として私として ABC の方にまず意見を述べさせていただきまして、あとは論議をしていただくと。 給食費にはついては無償化は現在考えておりません。 公会計方式については、公会計をとる、教育委員会がそのような形をとるということであれば反対するものではございません。 そして係と人員配置でございますが、まずその内容を精査し、教育委員会内の全体の中での調整とか、そういうようなものがないのかどうか、現在はまた資料等いただいた中で、それが対応するというふうに現時点では考えております。 町としてはそういうふうに考えておりますが、その点も含めまして、ご意見等ございましたらよろしく願います。(質疑なし) ないようでしたらまたそういうような形で詰めるところまで詰めてやってやるというような形にしたいと思います。よろしいでしょうか それでは一応協議事項終わりましたので4番目のその他で意見交換ということになっておりますのでここから副町長発言を許します。
柴田副町長	ありがとうございます
寺西町長	先ほどの質問も含めまして、何かありましたら
柴田副町長	とりあえずすいません、先ほどちょっと確認みたいになるんですけども学校関係の行事予定の関係で3月23日に内覧会を予定していると思うんですけども、こちらについてどういった出席者を予定しているのか、今内容がおぼろげな何人ぐらいいるのか、どういった人がいることを何か考えられてましたか。
梶谷学校教育課長	内覧会ですので、基本的には住民の方に来ていただくという形で考えています。要は告知して周知して、そして当日、中を見てもらうという形にしておりますので、何名といったところではなくて、その時間帯に学校の中はこういう状況ですと、新しい学校の中を見てもらうと、出来たらもうやはり保護者の方がどうしてもメインになってくるかなというふうには考えています。
柴田副町長	わかりました
梶谷学校教育課長	落成式はもう純粹に関係者とか来賓のそういうような感じ、内覧会はどちらかというと、新しい学校の方がこういう形で保護者の方が全く知らない状況で入学式とかそういう始業式に来る前の段階としてちょっと中を見てくださってということで考えております。
柴田副町長	要は、出来上がった学校をよかったらご自由に見てくださいね、みたいな感じでということですね。

梶谷学校教育課長	そういう形で考えています。
柴田副町長	わかりました。ありがとうございます。質問は以上です。
寺西町長	それでは他になければ、意見交換に入らせていただきたいと思います。 これはどのような形、こちらの方から、委員さん方から質問をして
梶谷学校教育課長	そうですね、出来れば委員さんの方から質問して、意見交換という形で させていただければと思います。
古田教育委員	よろしいですか、他の報告事項、協議事項についてはですね、お伺いして理解できました。 せっかくの機会ですし意見交換ということで、今後のことですね。 特に私、知りたいのは、私自身も町民として非常に新しい学校について期待しております楽しみにしております。校舎については縷々ですね順調に進んでいるという報告で、それはもうそれでいいと思うんですけど、あと内容、ソフト面ですね、これも教育委員会を中心に、教育内容については今検討されていると思います。やはり子供たちに夢のある学校をつくるには、教育内容をですね、やはり添田町独自のあの素晴らしい教育内容をぜひ継続していただきたいというふうに思っているところです。 それともう一つちょっと私が心配してるのは、新しい学校に向けてですね、説明会を10数回ですね、開催してると思うんですが、その中でやはり今回の統合についても心配されている意見もあったと思います。 例えば、跡地問題ですね、跡地活用問題それから水泳学習も懸案事項ということで、水泳事業についてですね、プールですよ、要するに、一応設置場所がないというようなことで、これは新聞報道でもあったのだと思うんですけど、そのことも、校舎はどんどん進んでいってるんですが、新校舎に向けて進んでいるんですけど、そのあたりは一体どうなってるのかなと行事を見たときに、学校関係の行事はよくわかるんですけど、ただ保護者を対象にした話し合いだとか、準備委員会ですかねなんかいろいろ会議がありますよね。そういったところはまた別に資料あると思うんですけど、こういった内容で、どういう意見がですね、地域の方から出されてるのかなとそういうところが非常に私は今心配な点として思っています。やはりこの事業はですね、やはり私は大げさな言い方かもしれないけど、町の命運をかけたね、大きな一大事業だと思っています。ですから何としても成功させたいとしてももらいたいと、統合したけど全然やねとかいう意見が出ればですね、これはやっぱりね、残念なことなんですよね。やはり学校起点に学校こんななったね、町が勢いづいたねというようなですね意見がたくさん出れば嬉しいなと、そのためには言ったような細かなですね、説明会の中でもいろいろ論議してく

	れるわけですから、そういったところも大事にしながら、今後に向けてですね、丁寧に説明できるようにですね、お願いしたいなというふうに思います。例えばあれもそうなんです体育館もそうなんです。 非常に立派な体育館だと思うんですが今、避難場所についてもですね、公民館あたりでも非常に老朽化していると今度は日向灘沖の地震もありました。南海トラフの地震もありましたね。その中でやはり避難場所についても、今度、立派な体育館が出来たらそういう避難場所にも活用できるんだというような話もあったと思うんですよ。そういうふうにそれに付随して、その備蓄、体育館に対して、こういうことも考えてるんですよとか、打ち出していけば、町民の方も安心じゃないですけど、納得ですね。そういうことを得られるのではないかなとそういうのはちょっとここでは見えなかったので考えてあるんだろうと思うんですけど
寺西町長	ありがとうございます、今、3、4点、具体的なものを全体としては、やはりこれから内容の充実ということですね。それが見えるような要するに対応という形ですから、確かにその点は学校教育課の方からでも、やっぱりその内容的なものですね今後の。それとまず第1点目の学校跡地をどうするのかについてはまず今の検討状態とか状況とか、何かあったらそれはそれと水泳のことについては、どういったこととか、水泳についても何か学校側が考えていることがございましたら、そういうことそれと住民への周知等について何か考えているのかそれからこれから考えていこうとしているのか。そしてあともう一つは、体育館避難場所とかそういうような形にする場合、具体的な中身のですね、どういうふうな、そういうものも対応していくのかというような形だったかと思います。そういうことについて一つずつ、まず学校跡地関係から
宮内まちづくり課長	はい、まちづくり課長の宮内ですよろしくお願いします。学校跡地につきましては、現在、副町長、教育長、各課課長で構成する庁内活用検討会議で、まず行政として活用できる、活用する跡地はどこなのか、どういった活用方法があるのかを検討中でございます。 今後、時期は未定ですが庁内の関係団体の皆様に構成する検討委員会や、住民への説明会等を開催していく予定でございます、その中で行政の活用民間事業者等への活用、地域での活用の三つの活用を基本方針とした学校跡地利活用の基本計画を作成していくこととしております。 以上です。
梶谷学校教育課長	はい、そしたら二つともありましたけれどもが、住民説明会の件でございます、住民説明会についてですね、ちょっと話を進めております。 まず10月に住民の方に向けた形での説明会をしようと考えております。

	そして新しい学校、新児童生徒につきましては新入学説明会があるそのときに我々の方から説明させていただこうというふうに考えております。中学校は12月、小学校は1月2月という形での説明会を考えております。そして、プールにつきましては水泳事業にかけましては正直これは申し訳ありません、学校教育という教育委員会の中での話になってまいりますので、プール授業についてはまたこちらの方でお話させてもらう、ただしプール事業をどこで行うかにつきましては、今まで通りに、令和6年度につきましては、クアハウスで行ってまいりました。これを当面続けさせていただくというところで考えております。 ですので、小学校は基本的には水泳授業はクアハウスで行います、中学校は、もう現実的には水泳授業ができないので、着衣水泳ではなく、講習で行うというふうに考えています。そうした形で考えております。 それともう一つ避難場所につきましてもこれは防災の観点になりますけれども、基本的には避難施設というのは学校上は当然避難施設としては考えていますけれども、拠点とするような形での学校施設というのは少し難しいのではないかと考えておりますので、今の町民体育館や、他の避難所、そのところで考えておりますので、というふうに考えています。まず拠点とするような形ではちょっと今の現状の体育館は当然ものすごい大地震とかいうふうな形になれば、それはきちっとした拠点とはしますけれども、あくまでやはり学校という形での考え方で我々は進めていこうというふうに考えております、地域開放とかいうのは当然考えておりますけれども、また拠点となるとまたちょっと少し観点が違うのかなというふうに思っておりますのでそういう形でさせていただこうというふうに思っております。以上でございます。
梅野教育委員	追加でちょっと、住民説明会、課長さんがおっしゃったのについて、小学校が1、2月の学校説明会と一緒にするっていう形で、小学校は、新1年生だけじゃなくって、在校生はしないんですか。
梶谷学校教育課長	します。
梅野教育委員	一緒に
梶谷学校教育課長	在校生もしますし、新入学児童生徒にもします。
梅野教育委員	一緒にの時期に
梶谷学校教育課長	一緒じゃないです、別の時期にします。
梅野教育委員	バスの関係とかのお話もするという感じですか。わかりました。ありがとうございます。
寺西町長	これは私からもお願いですけども住民への周知の前に古田委員さんが言ったように、割となるなるべく具体的な内容、詳細、わかる範囲でよろ

	しくお願いしたいと思っています。 それと跡地については割と香春町が、色々と、あれば参考に、香春町町長一生懸命、自分のところの跡地はと、今、思いつきのあれですけどいろいろ皆さん方それぞれ今後検討して計画そのあたりもそのあたりですねなかなかですね、蓄電池のとか、大牟田はなんか九電で、蓄電池施設を学校のところにあれらしいです、香春は三菱で、そういうなのもひとつの色々な、場所にもよりましようけどですね、現状、課題に挙がってくると思います。今、言ったようにいろんな計画を作って、跡地の使い方が非常に難しいんですね、津野あたりもですね、農協がきれいになくなってしまったので、あそこ寂しくなって、そういうような状況です。他に何か。
高瀬教育長	先ほどの古田委員さんのお話の中にあったこととも関係しますけれども、あの前半ずっといわゆるハード面についての説明をさせていただきましたので、それに合わせてもちろん中身を含め、学校も交えて進めているところですけども、やはり現状としては町の常勤講師を雇っていただいております、ご協力いただいて、それが中学校に常勤2名、落合、中元寺、真木小学校にそれぞれ1名それからそれぞれ小学校に3名の非常勤講師を配置していただいております。 このまんま、この数を4月以降も配置していただけたらこんなありがたいことはないんですがそんなちょっと贅沢、贅沢も言えませんので今後少しずつ精査をしていかなければいけないと思っているところですけども、現状としては、現状というか新しい4月スタートをする5つ、実質4つですけども、小学校の子供たちが大きな学校に必要なということもありますので、それに対するフォローであるとか今、非常に問題になってます、いじめ、不登校の対応であるとか、本町につきましては、特に大きな増加はございませんけれども、若干固定化してるような傾向が見られます、そういったことに対する対応であるとか、それからもう一つ、来年の新1年生に対する各保育園回りをしながら園児の状況の把握にも努めておりますけどもなかなかやっぱり支援が必要な子供たちの割合が高くなっているというような状況もございます。 そういったことも合わせると、こちらから今からいわゆるソフト面で十分検討していきますけれども、ぜひ来年度の町からの教職員の加配等については、ぜひご理解とご協力を又いただければと思います。また随時もう今年度中の当初予算に関係してきますので、ご相談しながらしていただければと思います。以上です

寺西町長	私はその方はしっかりやっぱり内容を充実させてもらうというのはですね、必要なことだと思いますけど、まず一つは、そしてしっかり成果をやっば見える成果を出してもらいたいですね。確かに中ではいろんな形でやってるんでしょうけど成果というのは非常に難しいかも知れませんが、やっぱり住民の方たちが見える、良くなったね、良くなったねまた学力も含めて学力だけじゃないかもしれないかもしれませんがそういうの確かに我々もしっかり支援しますんで、そういう成果を成果も住民の皆さん方が見えるようなそれから、しっかりお願いしたいとそういう意味ではまた全体協議しながら、はい、数字をですね、やっていきたいと思います。よろしくお願いします。 他に何かございますでしょうか、今度新しく学校になるにしてもやっぱり今度いろんな私はいろんな地域との連携ですね。これはもうすごくやっぱり必要だろうと思いますなんかですというのが何を言いたいかというと放課後児童クラブやらと連携とかですね施設の部分も含めて施設は新しくしますけど中身的なものです今もやっていただけてるんでしょうけどそういうのも含めて学校にはお願いしたいとそれはまた内容と関わってくるし、また業務との兼ね合いもまた出てくるんでしょうけどそういうになります。よろしく、何か他にございますでしょうか。 しっかりいろんな情報共有しながらしっかりやっていきたいと思います。なかなか縦割りみたいなのが時々出てくるんです。形があるんでそういうことないような形でしっかりやっていきたいと思います。 何かございせんでしょうか。なんか逆にこちらの方から委員さん方に説明するのに、これをちょっと説明しておこうかというのもございせんでしょうか、それでは、一応それで本日のその総合教育会議は、一応予定した部分はこれですね、はいそれじゃ、どうぞよろしくお願いします。
梶谷学校教育課長	はい、ありがとうございます。それでは色々と協議していただきありがとうございます。この方向で進めさせていただきたいと思います。 それではこれをもちまして、令和6年度第1回総合教育会議を閉じらせていただきます。お疲れ様でした。